

現行対象物質のうち個別に検討を要する物質

現行の化管法対象物質(435物質)のうち、今回見直しを行った結果、現行の物質を選定した際から有害性クラスが異なる物質を別添の表に示している。このうち表1に、最新の情報に基づき有害性情報を収集・整理した結果、有害性クラスが更新されたものを、表2に、前回選定時の有害性情報の評価方法を精査した結果、化管法の物質選定基準と合致しないために有害性クラスを変更したものを示す。

表1. 最新の情報に基づき有害性情報を収集・整理した結果、有害性クラスが更新されたもの

資料3 - 2

種・政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-001	亜鉛の水溶性化合物						1											新たな有害性データが確認されたことによる	ATSDR(2005)、CERI/ハザードデータ集(2002)	
1-002	アクリルアミド				3													新たな有害性データが確認されたことによる	第28次指令(2001)、CERI-NITE有害性評価書(2004)	
1-003	アクリル酸									3								前回の慢性吸入毒性はWHOの大気基準(0.054mg/m3)による。今回は、WHOの大気基準が廃止された。	WHO	
1-003	アクリル酸															1		新たな有害性データが確認されたことによる	EHC191, 1997	
1-004	アクリル酸エチル															2		新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書, 2004	
1-006	アクリル酸メチル															2		新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書, 2006	
1-007	アクリロニトリル								3									新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書(2005)	
1-007	アクリロニトリル									2	1							前回の慢性吸入毒性は、ラットの2年間のLOAEL20ppmによる。今回はWHOの大気基準値(0.001mg/m3)から、クラス1に該当する。	WHO	
1-007	アクリロニトリル															2		新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書, 2005	
1-008	アクロレイン								1									新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD(2002)	
1-008	アクロレイン										2							新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD(2002)	
1-009	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)							3										前回の慢性経口クラス3は、WHOの水質基準(0.08mg/L)であった。今回は、WHOの水質基準が廃止された。	WHO	
1-011	アセトアルデヒド															2		新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書, 2004	
1-014	o-アニシジン						1											新たな有害性データが確認されたことによる	DFGOT(1993)	
1-018	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノ-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料, 1995	
1-019	3-アミノ-1H-1,2,4-トリアゾール								3									新たな有害性データが確認されたことによる	EHC(1994)	
1-019	3-アミノ-1H-1,2,4-トリアゾール				3													新たな有害性データが確認されたことによる	第29次指令(2004)、(DFGOT(2002)、JMPR(1997))	
1-019	3-アミノ-1H-1,2,4-トリアゾール															2		新たな有害性データが確認されたことによる	EHC158, 1994	
1-020	2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスフィニル]酪酸							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI(0.01mg/kg/day)による。今回は、農薬ADIが0.021mg/kg/dayであり、クラス外に相当する。	国衛研農薬ADI情報	1
1-023	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン						1											新たな有害性データが確認されたことによる	CERI有害性評価書(2006)	
1-023	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン				3													新たな有害性データが確認されたことによる	第28次指令(2001)、(CERI-NITE有害性評価書(2005))	
1-025	アンチモン及びその化合物										2							新たな有害性データが確認されたことによる	IRIS(2002)	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス (前回 答申)	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-026	石綿					1												新たな有害性データが確認されたことによる	ATSDR (2001)	
1-027	3-イソシアナトメチル- 3,5,5-トリメチルシクロ ヘキシル=イソシア ネート														1			新たな有害性データが確認されたことによる	第22次指令以前(1996 年以前)、(EULISK警 句及びCERI/ハザード データ集(2000))	
1-028	イソブレン															2		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、 2000	
1-029	4,4'-イソプロピリデン ジフェノール				3													新たな有害性データが確認されたことによる	第29次指令(2004)、 (CERI-NITE有害性評価 書(2005))	
1-030	4,4'-イソプロピリデン ジフェノールと1-クロロ -2,3-エポキシプロパン の重縮合物(別名ビス フェノールA型エポキ シ樹脂)(液状のもの に限る。)															2		新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価 書、2006	
1-032	2-イミダゾリジンチオン				2													新たな有害性データが確認されたことによる	第19次指令以前(1993 以前)、(DEGOT 農業登録申請資料、 2004)	
1-034	エチル=2-[4-(6-クロ ロ-2-キキサリニル オキシ)フェノキシ]ブ ロピオネート															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-035	S-エチル=2-(4-クロロ -2-メチルフェノキシ) チオアセタート							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.002mg/kg/day)による。現在は、農 薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-035	S-エチル=2-(4-クロロ -2-メチルフェノキシ) チオアセタート															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-036	O-エチル=0-(6-ニト ロ-m-トリル)=sec-ブチ ルホスホルアミドチオ アート															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-038	N-(1-エチルプロピ ル)-2,6-ジニトロ-3,4- キシリジン															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-040	エチルベンゼン		2															新たな有害性データが確認されたことによる	IARC	
1-040	エチルベンゼン															1	2	前回の物質選定では、魚類の96時間 LC50が0.0043mg/L (ECETOC) からク ラス1としたが、ECETOCの更新により 当該データが削除された。魚類の96時 間LC50が4.2mg/L (CERI・NITE有害性 評価書、2007) からクラス2とした	CERI・NITE有害性評価 書(2007)	
1-041	エチレンイミン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集 (2001)	
1-042	エチレンオキシド										3							新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD (2003)	
1-042	エチレンオキシド															2		新たな有害性データが確認されたことによる	EHC55、1985	
1-045	エチレングリコールモ ノメチルエーテル											2						新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-047	エチレンジアミン四酢 酸															2		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、 2002	
1-048	N,N'-エチレンビス(ジ チオカルバミン酸)亜 鉛															1		新たな有害性データが確認されたことによる	EHC78、1988	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-048	N,N'-エチレンビス(ジ チオカルバミン酸)亜 鉛							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.005mg/kg/day)による。今回は、農 薬ADIが0.03mg/kg/dayであり、クラス 外に相当する。	国衛研農薬ADI情報	
1-049	N,N'-エチレンビス(ジ チオカルバミン酸)マン ガン															1		新たな有害性データが確認されたこ とによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-049	N,N'-エチレンビス(ジ チオカルバミン酸)マン ガン							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.005mg/kg/day)による。今回は、農 薬ADIが0.03mg/kg/dayであり、クラス 外に相当する。	国衛研農薬ADI情報	
1-050	N,N'-エチレンビス(ジ チオカルバミン酸)マン ガンとN,N'-エチレンビ ス(ジチオカルバミン 酸)亜鉛の錯化合物															1		新たな有害性データが確認されたこ とによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-050	N,N'-エチレンビス(ジ チオカルバミン酸)マン ガンとN,N'-エチレンビ ス(ジチオカルバミン 酸)亜鉛の錯化合物							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.00625mg/kg/day)による。今回は、 農薬ADIが0.03mg/kg/dayであり、クラ ス外に相当する。	国衛研農薬ADI情報	
1-051	1,1'-エチレン-2,2'-ビ リジニウム=ジプロミド												2					新たな有害性データが確認されたこ とによる	ACGIH	
1-052	4'-エトキシアセトアニ リド					1												新たな有害性データが確認されたこ とによる	CERI/ハザードデータ集 (2001)	
1-053	5-エトキシ-3-トリクロ ロメチル-1,2,4-チアジ アゾール							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.016mg/kg/day)による。現在は、農 薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-053	5-エトキシ-3-トリクロ ロメチル-1,2,4-チアジ アゾール															1		新たな有害性データが確認されたこ とによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-054	エビクロロヒドリン								1									日本の水質基準要監視項目 0.004mg/Lからクラス1		
1-055	2,3-エポキシ-1-プロ パノール					1												新たな有害性データが確認されたこ とによる	CERI/ハザードデータ集 (2001)	
1-055	2,3-エポキシ-1-プロ パノール				2													新たな有害性データが確認されたこ とによる	第25次指令以前(1998 以前)、(DFGOT (2003)、ACGIH(2001)、 CERI/ハザードデータ集 (2003))	
1-058	1-オクタノール					1												新たな有害性データが確認されたこ とによる	CERI/ハザードデータ集 (2002)	
1-060	カドミウム及びその化 合物					1												新たな有害性データが確認されたこ とによる	IARC(1993)	
1-060	カドミウム及びその化 合物															1		新たな有害性データが確認されたこ とによる	EU Risk Assessment Report, 2003	
1-065	グリオキサール												2					新たな有害性データが確認されたこ とによる	ACGIH	
1-066	グルタルアルデヒド												2					新たな有害性データが確認されたこ とによる	日産衛	
1-066	グルタルアルデヒド															1		新たな有害性データが確認されたこ とによる	SIDS, 1998	
1-068	クロム及び3価クロム 化合物					1												新たな有害性データが確認されたこ とによる	IARC(1999)	
1-069	6価クロム化合物										1							WHOの大気基準値(0.001mg/m3)から クラス1に該当する。	WHO	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-072	p-クロロアニリン								3									新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD (2003)	
1-076	2-クロロ-2'-エチル-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)-6'-メチルアセトアニリド															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
1-077	クロロエチレン							2	1									前回の慢性経口クラス2は、EPAの水質基準(0.002mg/L)による。今回は、WHOの水質基準(0.0003mg/L)からクラス1。	WHO	
1-077	クロロエチレン									1								WHOの大気基準値(0.001mg/m3)からクラス1に該当する。	WHO	
1-079	1-[(2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキサラン-2-イル)メチル]-1H-1,2,4-トリアゾール															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
1-080	クロロ酢酸								3									WHOの水質基準0.02mg/Lからクラス3		
1-080	クロロ酢酸															1		新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価書、2006	
1-082	2-クロロ-2'-6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)アセトアニリド											3						新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-082	2-クロロ-2'-6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)アセトアニリド															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、1999	
1-083	1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン															1		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、1999	
1-089	o-クロロトルエン															2	1	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2000	
1-090	2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-1,3,5-トリアジン															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
1-092	4-クロロベンジル=N-(2,4-ジクロロフェニル)-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)チオアセトイミダゼート															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2003	
1-093	クロロベンゼン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	CERI有害性評価書(2006)	
1-095	クロロホルム							3	2									前回の慢性経口クラス3は、日本の水質基準(0.06mg/L)による。今回は、日本の水生生物保全に係る要監視項目(0.006mg/L)からクラス2。		
1-095	クロロホルム															2		新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD58(2004)	
1-099	五酸化バナジウム		2															新たな有害性データが確認されたことによる	IARC	
1-099	五酸化バナジウム					1												新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD(2001)	
1-099	五酸化バナジウム								2									新たな有害性データが確認されたことによる	CERIハザードデータ集(2000)	
1-099	五酸化バナジウム				3													新たな有害性データが確認されたことによる	第25次指令以前(1998以前)、(CICAD(2001)、NTP(2002))	
1-099	五酸化バナジウム															2		新たな有害性データが確認されたことによる	CERIハザードデータ集(2002)	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-102	酢酸ビニル									3								新たな有害性データが確認されたことによる	IRIS(1990)	
1-102	酢酸ビニル															2		新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価書、2005	
1-103	酢酸2-メトキシエチル											2						新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-105	α-シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ-α,α,α-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリナート							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI(0.005mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-105	α-シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ-α,α,α-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリナート															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2005	
1-108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)							2	1									日本の水質基準、検出されないこと、からクラス1		
1-110	N,N-ジエチルチオカルバミン酸S-4-クロロベンジル					1												新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録資料(1985)	
1-111	N,N-ジエチル-3-(2,4,6-トリメチルフェニル)スルホニル)-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
1-112	四塩化炭素									3								新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価書(2005)	
1-112	四塩化炭素															1		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2002	
1-113	1,4-ジオキサン							3										日本の水質基準要監視項目0.05mg/Lからクラス3		
1-114	シクロヘキシルアミン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	IARC(1999)	
1-117	1,1-ジクロロエチレン									3								新たな有害性データが確認されたことによる	IRIS(2002)	
1-118	cis-1,2-ジクロロエチレン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	NTP DB(2006)	
1-120	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	CERI有害性評価書(2006)	
1-120	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン															1		新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価書、2005	
1-122	3,5-ジクロロ-N-(1,1-ジメチル-2-プロピニル)ベンズアミド															2		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2003	
1-125	2',4'-ジクロロ-α,α,α-トリフルオロ-4'-ニトロ-m-トルエンスルホンアミド															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
1-126	2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリルオキシ]-4-メチルアセトフェノン							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI(0.015mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-126	2-[4-(2,4-ジクロロ-m- トルオイル)-1,3-ジメチ ル-5-ピラゾリルオキ シ]-4-メチルアセトフェ ノン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-128	1,4-ジクロロ-2-ニトロ ベンゼン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価 書、2007	
1-129	3-(3,4-ジクロロフェニ ル)-1,1-ジメチル尿素																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-130	3-(3,4-ジクロロフェニ ル)-1-メトキシ-1-メチ ル尿素				2													新たな有害性データが確認されたことによる	第29次指令(2004)、 (IRIS(2007))	
1-130	3-(3,4-ジクロロフェニ ル)-1-メトキシ-1-メチ ル尿素																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-131	2,4-ジクロロフェノキシ 酢酸		2															新たな有害性データが確認されたことによる	IARC	
1-134	1,3-ジクロロ-2-プロパ ノール								3									新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価 書(2004)	
1-136	3',4'-ジクロロプロピオ ンアニリド							3										前回のクラス3は、WHOの水質基準 (0.02mg/L)による。今回は、WHOの 水質基準が廃止された。	WHO	
1-136	3',4'-ジクロロプロピオ ンアニリド																2	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2005	
1-137	1,3-ジクロロプロベン											3						新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-137	1,3-ジクロロプロベン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	CERIハザードデータ集 (1997)	
1-138	3,3'-ジクロロベンジジ ン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD(1998)	
1-138	3,3'-ジクロロベンジジ ン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	CaPSAR(1993)	
1-140	p-ジクロロベンゼン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	EU-RAR(2004)	
1-141	2-[4-(2,4-ジクロロベン ゾイル)-1,3-ジメチル- 5-ピラゾリルオキシ]ア セトフェン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2005	
1-142	4-(2,4-ジクロロベンゾ イル)-1,3-ジメチル-5- ピラゾリル=4-トルエン スルホナート							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.006mg/kg/day)による。現在は、農 薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-142	4-(2,4-ジクロロベンゾ イル)-1,3-ジメチル-5- ピラゾリル=4-トルエン スルホナート															3	1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-143	2,6-ジクロロベンゾニ トリル							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.004mg/kg/day)による。現在は、農 薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-143	2,6-ジクロロベンゾニ トリル																2	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-145	ジクロロメタン							3	2									前回の慢性経口クラス3は、WHO及び 日本の水質基準(0.02mg/L)による。 今回は、EPAの水質基準(0.005mg/L) からクラス2	EPA	
1-145	ジクロロメタン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	EHC84、1989	
1-146	2,3-ジシアノ-1,4-ジチ アアントラキノン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2004	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-147	1,3-ジチオラン-2-イリ デンマロン酸ジイソ プロピル												3					新たな有害性データが確認されたことによる	日産衛	
1-148	ジチオリン酸0-エチル -S-S-ジフェニル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-149	ジチオリン酸S-2-(エ チルチオ)エチル-0,0 -ジメチル																2	新たな有害性データが確認されたことによる	PDS、1988	
1-150	ジチオリン酸0-エチル -0-(4-メチルチオフェ ニル)-S-n-プロピル							3										前回の慢性経口クラス3は、農業ADI (0.00125mg/kg/day)による。現在は、 農業ADI確定値としては未公表。	国衛研農業ADI情報	
1-150	ジチオリン酸0-エチル -0-(4-メチルチオフェ ニル)-S-n-プロピル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	AQUIRE(2003)	
1-151	ジチオリン酸0,0-ジエ チル-S-(2-エチルチ オエチル)															2	1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-152	ジチオリン酸0,0-ジエ チル-S-[(6-クロロ- 2,3-ジヒドロ-2-オキソ ベンゾオキサゾリニル) メチル]																1	新たな有害性データが確認されたことによる	HSDB(2004)	
1-153	ジチオリン酸0-2,4-ジ クロロフェニル-0-エ チル-S-プロピル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-154	ジチオリン酸S-(2,3- ジヒドロ-5-メトキシ-2- オキソ-1,3,4-チアジア ゾール-3-イル)メチル -0,0-ジメチル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-155	ジチオリン酸0,0-ジメ チル-S-1,2-ビス(エト キシカルボニル)エチ ル												3					新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-156	ジチオリン酸0,0-ジメ チル-S-[(N-メチルカ ルバキシル)メチル]																2	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-158	2,4-ジニトロフェノール						1											新たな有害性データが確認されたことによる	ATSDR(1995)	
1-158	2,4-ジニトロフェノール															2	1	新たな有害性データが確認されたことによる	ECETOC TR91(2003)	
1-161	N-ジブチルアミノチオ- N-メチルカルバミン酸 2,3-ジヒドロ-2,2-ジメ チル-7-ベンゾ[b]フラ ニル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-165	N,N-ジメチルチオカル バミン酸S-4-フェノキ シブチル						1											新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録資料(1994)	
1-165	N,N-ジメチルチオカル バミン酸S-4-フェノキ シブチル							3										前回の慢性経口クラス3は、農業ADI (0.0075mg/kg/day)による。現在は、農 業ADI確定値としては未公表。	国衛研農業ADI情報	
1-165	N,N-ジメチルチオカル バミン酸S-4-フェノキ シブチル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス (前回 答申)	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-167	ジメチル=2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチル ホスホナート												3					新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-167	ジメチル=2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチル ホスホナート																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2004	
1-168	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピ リジニウム塩(次号に 掲げるものを除く)								2									新たな有害性データが確認されたことによる	EHC(1984)	
1-171	3,3'-ジメチルベンジジ ン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、 2000	
1-172	N,N-ジメチルホルムア ミド						1											新たな有害性データが確認されたことによる	CERI有害性評価書 (2006)	
1-173	2-[(ジメトキシホスフイ ノチオイル)チオ]-2- フェニル酢酸エチル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2005	
1-174	3,5-ジヨード-4-オクタ ノイルオキシベンゾニ トリル							3										前回の慢性経口クラス3は、農業ADI (0.005mg/kg/day)による。現在は、農 業ADI確定値としては未公表。	国衛研農業ADI情報	
1-174	3,5-ジヨード-4-オクタ ノイルオキシベンゾニ トリル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2003	
1-175	水銀及びその化合物						1											新たな有害性データが確認されたことによる	ATSDR(1999)	
1-176	有機スズ化合物							2										前回の慢性経口クラス2は、農業ADI (0.002mg/kg/day)による。現在は、農 業ADI確定値としては未公表。	国衛研農業ADI情報	
1-177	スチレン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価 書、2004	
1-178	セレン及びその化合物																1	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集 (2002)	
1-179	ダイオキシン類						1											新たな有害性データが確認されたことによる	EPA	
1-180	2-チオキソ-3,5-ジメチ ルテトラヒドロ-2H- 1,3,5-チアジアジン							3										前回の慢性経口クラス3は、農業ADI (0.0025mg/kg/day)による。現在は、農 業ADI確定値としては未公表。	国衛研農業ADI情報	
1-180	2-チオキソ-3,5-ジメチ ルテトラヒドロ-2H- 1,3,5-チアジアジン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	AQUIRE(2003)	
1-181	チオ尿素																2	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価 書、2005	
1-182	チオフェノール											3	2					新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-182	チオフェノール																1	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、 1999	
1-184	チオリン酸0-4-シアノ フェニル-0,0-ジメチ ル							2										前回の慢性経口クラス2は、農業ADI (0.001mg/kg/day)による。現在は、農 業ADI確定値としては未公表。	国衛研農業ADI情報	
1-184	チオリン酸0-4-シアノ フェニル-0,0-ジメチ ル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、 2005	
1-185	チオリン酸0,0-ジエチ ル-0-(2-イソプロピル -6-メチル-4-ピリミジ ニル)											2	1					新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-186	チオリン酸0,0-ジエチル-0-(6-オキソ-1-フェニル-1,6-ジヒドロ-3-ピリダジニル)							2										前回の慢性経口クラス2は、農薬ADI (0.00085mg/kg/day) による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-188	チオリン酸0,0-ジエチル-0-(3,5,6-トリクロロ-2-ピリジニル)							3	2									新たな有害性データが確認されたことによる	EHC(1986)	
1-188	チオリン酸0,0-ジエチル-0-(3,5,6-トリクロロ-2-ピリジニル)											3	2					新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-189	チオリン酸0,0-ジエチル-0-(5-フェニル-3-イソオキサゾリル)															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
1-190	チオリン酸0-2,4-ジクロロフェニル-0,0-ジエチル							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.0025mg/kg/day) による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-190	チオリン酸0-2,4-ジクロロフェニル-0,0-ジエチル															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
1-193	チオリン酸0,0-ジメチル-0-(3-メチル-4-メチルチオフェニル)											3	2					新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-193	チオリン酸0,0-ジメチル-0-(3-メチル-4-メチルチオフェニル)															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
1-194	チオリン酸0-3,5,6-トリクロロ-2-ピリジニル-0,0-ジメチル							2	3									前回は農薬ADI (0.0003mg/kg/day) によるが、今回は農薬ADIは0.01mg/kg/dayであり、クラス3に相当	国衛研農薬ADI情報	
1-194	チオリン酸0-3,5,6-トリクロロ-2-ピリジニル-0,0-ジメチル															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
1-195	チオリン酸0-4-プロモ-2-クロロフェニル-0-エチル-S-プロピル							2	3									前回は農薬ADI (0.00015mg/kg/day) によるが、今回は農薬ADIは0.01mg/kg/dayであり、クラス3に相当	国衛研農薬ADI情報	
1-195	チオリン酸0-4-プロモ-2-クロロフェニル-0-エチル-S-プロピル															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2005	
1-197	デカブロモジフェニルエーテル						1											新たな有害性データが確認されたことによる	NITE初期リスク評価書(2005)	
1-198	1,3,5,7-テトラアザトリシクロ[3.3.1.1.3.7]デカン														1			新たな有害性データが確認されたことによる	第22次指令以前(1996年以前)、環境省リスク評価(2004)、DFGOT(1993)	
1-199	テトラクロロイソフタロニトリル															1		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省リスク評価第2巻、2003	
1-202	テトラヒドロメチル無水フタル酸												1					新たな有害性データが確認されたことによる	日産衛	
1-202	テトラヒドロメチル無水フタル酸														1			新たな有害性データが確認されたことによる	メチルテトラヒドロ無水フタル酸として日本産業衛生学会、気道感作性物質、気道感作性分類1(2002)	
1-203	テトラフルオロエチレン												3					新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-204	テトラメチルチウラムジスルフィド						1											新たな有害性データが確認されたことによる	IARC(1991)	

種・政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス (前回 答申)	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]	
1-204	テトラメチルチウラムジ スルフィド																1	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省リスク評価第2 巻、2003		
1-205	テレフタル酸									3***	2***								CERI-NITE有害性評価 書(2007)		
1-206	テレフタル酸ジメチル																2	新たな有害性データが確認されたことによる	SIDS、2005		
1-207	銅水溶性塩(錯塩を除 く)						1												ATSDR(2004)、EHC (1998)		
1-208	トリクロロアセトアルデ ヒド							2											CERI有害性評価書 (2007)	1	
1-213	トリクロロトリフルオロ エタン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集 (1999)		
1-214	トリクロロニトロメタン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集 (2001)		
1-215	2,2,2-トリクロロ-1,1-ビス (4-クロロフェニル)エ タノール								3									前回は農薬ADIの0.025mg/kg/dayによる。今回は、農薬ADIは0.002mg/kg/dayであり、クラス3に該当	国衛研農薬ADI情報		
1-218	1,3,5-トリス(2,3-エポキシ プロピル)-1,3,5-トリ アジン-2,4,6(1H,3H,5 H)-トリオン						1												新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD(1998)	
1-219	2,4,6-トリニトロトルエ ン								2										新たな有害性データが確認されたことによる	IRIS(1993)	
1-219	2,4,6-トリニトロトルエ ン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集 (2002)		
1-221	2,4,6-トリプロモフェ ノール															2	1	新たな有害性データが確認されたことによる	ECETOC TR91(2003)		
1-222	トリプロモメタン						1												新たな有害性データが確認されたことによる	CERI有害性評価書 (2007)	
1-226	p-トルイジン						1												新たな有害性データが確認されたことによる	CERI有害性評価書 (2006)	
1-227	トルエン						1												新たな有害性データが確認されたことによる	EU-RAR(2003)	
1-227	トルエン				3														新たな有害性データが確認されたことによる	第29次指令(2004)、 (IRIS(2005)、EU-RAR	
1-228	2,4-トルエンジアミン								3										新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価 書(2006)	
1-228	2,4-トルエンジアミン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価 書、2006		
1-229	2-(2-ナフチルオキシ) プロピオンアニリド							3											前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI(0.007mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表	国衛研農薬ADI情報	1
1-230	鉛及びその化合物						1												新たな有害性データが確認されたことによる	DFGOT(2002)	
1-230	鉛及びその化合物										1								WHOの大気基準値(0.0005mg/m3)からクラス1に該当する	WHO	
1-230	鉛及びその化合物											2	1						新たな有害性データが確認されたことによる	日産衛	
1-231	ニッケル										1								WHOの大気基準値(0.001mg/m3)からクラス1に該当する	WHO	
1-232	ニッケル化合物										1								新たな有害性データが確認されたことによる	ATSDR(2005)	
1-232	ニッケル化合物														1				新たな有害性データが確認されたことによる	日本産業衛生学会、気 道感作性物質、気道感 作性分類2	
1-233	ニトリロ三酢酸						1												新たな有害性データが確認されたことによる	IARC(1999)	
1-236	ニトログリセリン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集 (2002)		

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当 しない[毒性か らの除外候 補]
1-237	p-ニトロクロロベンゼン							2										新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書(2004)	
1-240	ニトロベンゼン									2								新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書(2004)	
1-241	二硫化炭素									3								WHOの大気基準値(0.1mg/m3)からクラス3に該当する。	WHO	
1-241	二硫化炭素											3						新たな有害性データが確認されたことによる	日産衛	
1-241	二硫化炭素															2		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省リスク評価第2巻、2003	
1-242	ノニルフェノール			3														新たな有害性データが確認されたことによる	第29次指令(2004)、(CERI-NITE有害性評価書(2004))	
1-246	ビス(8-キノリナト)銅															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2004	
1-248	ビス(ジチオリン酸)S,S'-メチレン-0,0,0'-テトラエチル							3	2									前回は農薬ADI(0.005mg/kg/day)による。今回は、農薬ADIが0.0005mg/kg/dayであり、クラス2に該当する。	国衛研農薬ADI情報	
1-248	ビス(ジチオリン酸)S,S'-メチレン-0,0,0'-テトラエチル											3	2					新たな有害性データが確認されたことによる	日産衛	
1-248	ビス(ジチオリン酸)S,S'-メチレン-0,0,0'-テトラエチル															1		新たな有害性データが確認されたことによる	AQUIRE(2003)	
1-249	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)亜鉛					1												新たな有害性データが確認されたことによる	NTP DB(1983)	
1-249	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)亜鉛															1		新たな有害性データが確認されたことによる	EHC78, 1988	
1-250	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)N,N'-エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛)							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI(0.01mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-250	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)N,N'-エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛)															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2003	
1-252	砒素及びその無機化合物					1												新たな有害性データが確認されたことによる	ATSDR(2005)、CERI/ハザードデータ集(2002)	
1-252	砒素及びその無機化合物										1							WHOの大気基準値(0.001mg/m3)からクラス1に該当する。	WHO	
1-253	ヒドラジン							1										新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書(2004)	
1-253	ヒドラジン										1							新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書(2004)	
1-254	ヒドロキノン															1		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省リスク評価第2巻、2003	
1-255	4-ビニル-1-シクロヘキセン															2		新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書、2007	
1-256	2-ビニルピリジン															2		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2001	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-257	1-(4-ピフェニリルオキシ)-3,3-ジメチル-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)-2-ブタノール																2	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2004	
1-259	ビリジン												3					新たな有害性データが確認されたことによる	日産衛	
1-260	ピロカテコール						1											新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集(2001)	
1-261	フェニルオキシラン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2002	
1-262	o-フェニレンジアミン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2001	
1-263	p-フェニレンジアミン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集(2002)	
1-264	m-フェニレンジアミン						1											新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集(1999)	
1-264	m-フェニレンジアミン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2001	
1-265	p-フェネチジン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	SIDS、1996	
1-266	フェノール								2									日本の水質基準(水生生物保全に係る要監視項目0.01mg/L)からクラス2。前回は、WHO水質基準値の0.02mg/Lからクラス3。今回は、WHO水質基準値は0.3mg/L、農業ADIは0.048mg/kg/dayであり、クラス外に該当する。	WHO、国衛研農業ADI情報	
1-267	3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート							3										新たな有害性データが確認されたことによる	EUで1、日産衛で1	
1-268	1,3-ブタジエン	2	1															新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書(2005)	
1-268	1,3-ブタジエン										3							新たな有害性データが確認されたことによる	第28次指令(2001)、(CERI-NITE有害性評価書(2004))	
1-270	フタル酸ジ-n-ブチル				2													新たな有害性データが確認されたことによる	第28次指令(2001)、(CERI-NITE有害性評価書(2004))	
1-272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)				2													新たな有害性データが確認されたことによる	第28次指令(2001)、(CERI-NITE有害性評価書(2004))	
1-273	フタル酸n-ブチル=ベンジル						1											新たな有害性データが確認されたことによる	CERI有害性評価書(2006)	
1-273	フタル酸n-ブチル=ベンジル				2													新たな有害性データが確認されたことによる	第29次指令(2004)、(環境省リスク評価書CICAD17(1999))	
1-273	フタル酸n-ブチル=ベンジル															2	1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2004	
1-274	2-tert-ブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニルテトラヒドロ-4H-1,3,5-チアジアジン-4-オン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2004	
1-275	N-tert-ブチル-N'-(4-エチルベンゾイル)-3,5-ジメチルベンゾヒドラジド							3										前回の慢性経口クラス3は、農業ADI(0.009mg/kg/day)による。今回は、農業ADIが0.016mg/kg/dayであり、クラス外に相当する。		
1-275	N-tert-ブチル-N'-(4-エチルベンゾイル)-3,5-ジメチルベンゾヒドラジド																2	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、1992	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回答申)	発がん性 クラス (前回答申)	生殖 毒性 クラス (前回答申)	生殖 毒性 クラス (前回答申)	変異 原性 クラス (前回答申)	変異 原性 クラス (前回答申)	経口 慢性 クラス (前回答申)	経口 慢性 クラス (前回答申)	吸入 慢性 クラス (前回答申)	吸入 慢性 クラス (前回答申)	作業 環境 クラス (前回答申)	作業 環境 クラス (前回答申)	感作 性 クラス (前回答申)	感作 性 クラス (前回答申)	生態 毒性 クラス (前回答申)	生態 毒性 クラス (前回答申)	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
1-276	N-[1-(N-n-ブチルカルバモイル)-1H-2-ベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル					1												新たな有害性データが確認されたことによる	EU(2005)	
1-276	N-[1-(N-n-ブチルカルバモイル)-1H-2-ベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル			2														新たな有害性データが確認されたことによる	第29次指令(2004)、(農業登録資料)	
1-276	N-[1-(N-n-ブチルカルバモイル)-1H-2-ベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル															1		新たな有害性データが確認されたことによる	EHC148, 1993	
1-276	N-[1-(N-n-ブチルカルバモイル)-1H-2-ベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル							3										前回は、農業ADIの0.009mg/kg/dayからクラス3、今回は農業ADIは0.1mg/kg/dayであり、クラス外に該当する。	国衛研農業ADI情報	
1-277	ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート																2	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、1995	
1-278	tert-ブチル=4-(((1,3-ジメチル-5-フェノキシ-4-ピラゾリル)メチリデン]アミノオキシ)メチル)ベンゾアート																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2004	
1-279	2-(4-tert-ブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2-プロピニル=スルフィット																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2002	
1-280	2-tert-ブチル-5-(4-tert-ブチルベンジルチオ)-4-クロロ-3(2H)-ピリダジノン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2004	
1-281	N-(4-tert-ブチルベンジル)-4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-カルボキサミド																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2003	
1-283	ふっ化水素及びその水溶性塩					1												新たな有害性データが確認されたことによる	EU-RAR(2001)	
1-283	ふっ化水素及びその水溶性塩											3	2					ふっ化水素は、ACGIHのTWAで0.4mg/m3で許容濃度が規定されているため、作業環境クラス2	ACGIH(2007)	
1-284	N,N'-プロピレンビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合体																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2004	
1-287	2-ブロモプロパン			1														新たな有害性データが確認されたことによる	第28次指令(2001)、(CER/NITE有害性評価書(2004)) (CER/ハザードデータ集(2002))	
1-288	プロモetan																1	新たな有害性データが確認されたことによる	CER/ハザードデータ集(2002)	
1-293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート									1								新たな有害性データが確認されたことによる	IRIS(1994)	
1-294	ベリリウム及びその化合物							2	1									新たな有害性データが確認されたことによる	ATSDR(2002)	
1-294	ベリリウム及びその化合物									1								新たな有害性データが確認されたことによる	IRIS(1998)	
1-295	ベンジリジン=トリクロリド					1												新たな有害性データが確認されたことによる	CER/ハザードデータ集(2001)	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当 しない[毒性か らの除外候 補]
1-297	ベンジル=クロリド															2		新たな有害性データが確認されたことによる	環境省リスク評価第3巻、2004	
1-299	ベンゼン									2	1							WHOの大気基準値(0.001mg/m3)から、クラス1に該当する。	WHO	
1-299	ベンゼン															1	2	前回の物質選定では、魚類の96時間LC50が0.0058mg/L (ECETOC) からクラス1としたが、ECETOCの更新により当該データが削除された。魚類の96時間LC50が5.3mg/L (EU-RAR, 2003) からクラス2とした	EU-RAR (2003)	
1-301	2-(2-ベンゾチアゾリルオキシ)-N-メチルアセトアニリド																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2004	
1-302	ペンタクロロニトロベンゼン							2	3									前回は、農薬ADIの0.001mg/kg/dayからクラス2、今回は、農薬ADIは0.01mg/kg/dayであり、クラス3に該当	国衛研農薬ADI情報	
1-302	ペンタクロロニトロベンゼン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省リスク評価第1巻、2002	
1-306	ポリ塩化ビフェニル												1					新たな有害性データが確認されたことによる	日産衛	
1-306	ポリ塩化ビフェニル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	EHC (1992)	
1-309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル															2	1	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価書、2005	
1-310	ホルムアルデヒド	2	1															新たな有害性データが確認されたことによる	IARC	
1-310	ホルムアルデヒド								3									前回は、WHOの水質基準 (0.9mg/L) による。今回は、日本の水質基準 (水生生物保全に係る要監視項目0.03mg/L) でクラス3		
1-310	ホルムアルデヒド										2							新たな有害性データが確認されたことによる	SIDS (2002)	
1-310	ホルムアルデヒド																2	新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD40 (2002)	
1-311	マンガン及びその化合物																1	新たな有害性データが確認されたことによる	Australia NICNAS (2004)	
1-317	メタクリル酸2-(ジエチルアミノ)エチル															2		前回の物質選定では、藻類の72時間EC50が9.84mg/L (環境省生態影響試験報告) からクラス2としたが、当該データがEC50>10mg/Lに更新された。また、ヒメダカに対する96時間LC50が100mg/L以上 (環境省生態影響試験 (1997)) からクラス外とした		1
1-322	(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチル-2-ピリミジニルヒドラゾン							3										前回は、農薬ADI(0.0064mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-322	(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチル-2-ピリミジニルヒドラゾン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2000	
1-324	メチル=イソチオシアネート							3										前回は、農薬ADI(0.0025mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-324	メチル=イソチオシアネート																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農業登録申請資料、2004	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当 しない[毒性か らの除外候 補]
1-325	N-メチルカルバミン酸 2-イソプロピルフェニ ル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-326	N-メチルカルバミン酸 2-イソプロポキシフェ ニル						1											新たな有害性データが確認されたことによる	RTECS (2005)	
1-326	N-メチルカルバミン酸 2-イソプロポキシフェ ニル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	HSDB (2004)	
1-327	N-メチルカルバミン酸 2,3-ジヒドロ-2,2-ジメ チル-7-ベンゾ[b]フラ ニル						1											新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH (2001)	
1-328	N-メチルカルバミン酸 3,5-ジメチルフェニル							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.0034mg/kg/day)による。現在は、 農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-328	N-メチルカルバミン酸 3,5-ジメチルフェニル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料	
1-329	N-メチルカルバミン酸 1-ナフチル								3									前回は、農薬ADIが0.02mg/kg/day(日 本)であったが、今回は農薬ADIが 0.008mg/kg/day(JMPR)であり、クラス 3に該当する。	国衛研農薬ADI情報	
1-330	N-メチルカルバミン酸 2-sec-ブチルフェニル															2	1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-332	3-メチル-1,5-ジ(2,4- キシリル)-1,3,5-トリア ザベンタ-1,4-ジエン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2003	
1-333	N-メチルジチオカルバ ミン酸							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI (0.0075mg/kg/day)による。現在は、 農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-333	N-メチルジチオカルバ ミン酸																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2005	
1-334	6-メチル-1,3-ジチオ [4,5-b]キノキサリン- 2-オン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、 2004	
1-335	α-メチルスチレン						1											新たな有害性データが確認されたことによる	NTP DB (2006)	
1-337	S-1-メチル-1-フェニ ルエチル=ピペリジン- 1-カルボチオアート							2										前回の慢性経口クラス2は、農薬ADI (0.001mg/kg/day)による。現在は、農 薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
1-338	メチル-1,3-フェニレン= ジイソシアネート									1***	1							新たな動物試験から、104週の動物試 験においてLOAEL=0.36mg/m3のデー タがあり、クラス1に該当する	CERI-NITE有害性評価 書(2006)	
1-338	メチル-1,3-フェニレン= ジイソシアネート														1			新たな有害性データが確認されたことによる	トルエンジイソシアネ ート類として日本産業衛生 学会、気道感作性物質、 気道感作性分類1	
1-338	メチル-1,3-フェニレン= ジイソシアネート																1	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI・NITE有害性評価 書、2006	
1-339	2-(1-メチルプロピル)- 4,6-ジニトロフェノール								2									EPAの水質基準0.007mg/Lからクラス2		
1-340	4,4'-メチレンジアニリン								3									新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価 書(2006)	
1-340	4,4'-メチレンジアニリン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	CERI/ハザードデータ集 (1997)	

種・政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]	
1-341	メチレンビス(4,1-シクロヘキシレン)=ジイソシアネート																2	新たな有害性データが確認されたことによる	CERIハザードデータ集(2002)		
1-342	N-(6-メトキシ-2-ピリジル)-N-メチルチオカルバミン酸O-3-tert-ブチルフェニル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004		
1-343	9-メトキシ-7H-フロ[3,2-g][1]ベンゾピラン-7-オン						1												新たな有害性データが確認されたことによる	NTP DB(1989)	
1-344	2-メトキシ-5-メチルアニリン						1												新たな有害性データが確認されたことによる	安衛法変異原性試験結果(2005)	
1-346	モリブデン及びその化合物						1												新たな有害性データが確認されたことによる	CERIハザードデータ集(2002)	
1-347	りん酸2-クロロ-1-(2,4-ジクロロフェニル)ビニル=ジエチル							3	2										前回は、農薬ADIが0.0015mg/kg/dayであったが、今回は農薬ADIは0.0005mg/kg/dayであり、クラス2に該当する。	国衛研農薬ADI情報	
1-349	りん酸1,2-ジブromo-2,2-ジクロロエチル=ジメチル												2						新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-349	りん酸1,2-ジブromo-2,2-ジクロロエチル=ジメチル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	HSDB(2004)		
1-350	りん酸ジメチル=2,2-ジクロロビニル							2	1										新たな動物試験データから、LOAEL = 0.1mg/kg/dayであり、クラス1に該当する。	CERI有害性評価書(2006)	
1-350	りん酸ジメチル=2,2-ジクロロビニル											3	2						新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-351	りん酸ジメチル=(E)-1-メチル-2-(N-メチルカルバモイル)ビニル						1												新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH(2002)	
1-351	りん酸ジメチル=(E)-1-メチル-2-(N-メチルカルバモイル)ビニル											3	2						新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
1-351	りん酸ジメチル=(E)-1-メチル-2-(N-メチルカルバモイル)ビニル																2	新たな有害性データが確認されたことによる	AQUIRE(2003)		
2-010	N-エチルアニリン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2003		
2-011	2-エチルアミノ-4-イソプロピルアミノ-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン							3											前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI(0.0013mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
2-011	2-エチルアミノ-4-イソプロピルアミノ-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	ECETOC TR91(2003)		
2-012	O-エチル=O-2-(イソプロポキシカルボニル)フェニル=N-イソプロピルホスホルアミドチオアート																1	新たな有害性データが確認されたことによる	AQUIRE(2003)		

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
2-013	5-エチル-5-フェニル-2,4,6(1H,3H,5H)-ピリミジントリオン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	IARC(2001)	
2-019	5-クロロ-N-[2-(4-(2-エトキシエチル)-2,3-ジメチルフェノキシ)エチル]-6-エチルピリミジン-4-アミン															1		新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2005	
2-020	1-クロロナフタレン															2	1	新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD34(2001)	
2-021	0-6-クロロ-3-フェニル-4-ピリダジニル=S-n-オクチル=チオカルボナート							3										前回の経口慢性はWHOの水質基準値(0.1mg/L)による。今回は、WHOの水質基準値が廃止された。	WHO	
2-021	0-6-クロロ-3-フェニル-4-ピリダジニル=S-n-オクチル=チオカルボナート																1	新たな有害性データが確認されたことによる	IUCLID(2000)	
2-024	α-シアノ-3-フェノキシベンジル=2,2-ジクロロ-1-(4-エトキシフェニル)シクロプロパンカルボキシラート							3										前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI(0.033mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
2-024	α-シアノ-3-フェノキシベンジル=2,2-ジクロロ-1-(4-エトキシフェニル)シクロプロパンカルボキシラート																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
2-026	1-(3,5-ジクロロ-2,4-ジフルオロフェニル)-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)尿素																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2003	
2-027	2,2-ジクロロ-N-[2-(ヒドロキシ-1-(ヒドロキシメチル)-2-(4-ニトロフェニル)エチル]アセトアミド					1												新たな有害性データが確認されたことによる	IARC(1990)	
2-028	2,4'-ジクロロ-α-(5-ピリミジニル)ベンズヒドリル=アルコール				3													新たな有害性データが確認されたことによる	第28次指令(2001)、(農薬登録資料)	
2-028	2,4'-ジクロロ-α-(5-ピリミジニル)ベンズヒドリル=アルコール																2	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2005	
2-030	ジナトリウム=4-アミノ-3-[4'-(2,4-ジアミノフェニルアゾ)-1,1'-ビフェニル-4-イルアゾ]-5-ヒドロキシ-6-フェニルアゾ-2,7-ナフタレンジスルホナート				3													新たな有害性データが確認されたことによる	第22次指令以前(1996以前)、(IARC(1982))	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]
2-033	2,4-ジニトロ-6-オクチルフェニル=クロトナート及び2,6-ジニトロ-4-オクチルフェニル=クロトナートの混合物(オクチル基が1-メチルヘプチル基、1-エチルヘキシル基又は1-プロピルベンチル基であるものの混合物に限る。)							2										前回の慢性経口クラス2は、農薬ADI(0.001mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	1
2-034	4,6-ジニトロ-o-クレゾール					1												新たな有害性データが確認されたことによる	EHC(2000)	
2-034	4,6-ジニトロ-o-クレゾール							3										新たな有害性データが確認されたことによる	EHC(2000)	
2-034	4,6-ジニトロ-o-クレゾール															2	1	新たな有害性データが確認されたことによる	EHC220, 2000	
2-037	ジビニルベンゼン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	PATTY(1999)	
2-038	5,5-ジフェニル-2,4-イミダゾリジジオン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	NTP DB(1993)	
2-040	1,3-ジプロモプロパン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2003	
2-043	1,1-ジメチルヒドラジン											1						新たな有害性データが確認されたことによる	ACGIH	
2-043	1,1-ジメチルヒドラジン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	AQUIRE(2003)	
2-045	チオアセトアミド					1												新たな有害性データが確認されたことによる	RTECS(2006)	
2-047	1,1,2,2-テトラクロロエタン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	NTP DB(2004)	
2-047	1,1,2,2-テトラクロロエタン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	SIDS, 2005	
2-048	テトラナトリウム=3,3'-[(3,3'-ジメトキシ-4,4'-ビフェニレン)ビス(アゾ)]ビス(5-アミノ-4-ヒドロキシ-2,7-ナフタレンジスルホナート)					1												新たな有害性データが確認されたことによる	RTECS(2006)	
2-051	トリクロロアセトニトリル							1										前回の経口慢性はWHOの水質基準値(0.001mg/L)による。今回は、WHO水質基準値が廃止された。	WHO	1
2-053	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート																2	新たな有害性データが確認されたことによる	AQUIRE(2003)	
2-057	ビフェニル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省リスク評価第1巻、2002	
2-059	p-(フェニルアゾ)アニリン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	BUA(1998)	
2-059	p-(フェニルアゾ)アニリン																1	新たな有害性データが確認されたことによる	BUA217(2000)	
2-061	1-tert-ブチル-3-(2,6-ジイソプロピル-4-フェノキシフェニル)チオ尿素																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004	
2-062	tert-ブチル=ヒドロペルオキシド																2	新たな有害性データが確認されたことによる	IUCLID(2000)	
2-063	1,3-プロパンスルホン					1												新たな有害性データが確認されたことによる	IARC(1999)	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性 クラス (前回 答申)	感作 性 クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	備考	有害性クラス が全て該当し ない[毒性か らの除外候 補]	
2-064	N-プロピル-N-[2-(2,4,6-トリクロロフェノキシ)エチル]イミダゾール-1-カルボキサミド																2	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2004		
2-065	2-プロピン-1-オール					1													新たな有害性データが確認されたことによる	NTP DB(2007)	
2-065	2-プロピン-1-オール																2	新たな有害性データが確認されたことによる	HSDB(2004)		
2-066	2-(4-プロモジフルオロメトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、1993		
2-069	ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=プロミド					1													新たな有害性データが確認されたことによる	CERI-NITE有害性評価書(2005)	
2-074	メチルヒドラジン																2	新たな有害性データが確認されたことによる	AQUIRE(2003)		
2-075	2-メチル-1,1'-ピフェニル-3-イルメチル=(Z)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート																1	新たな有害性データが確認されたことによる	農薬登録申請資料、2001		
2-076	メチル=3-(4-メトキシ-6-メチル-1,3,5-トリアジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-2-テノアート							3											前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI(0.0096mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	1
2-078	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート									1									新たな有害性データが確認されたことによる	CICAD(2000)	
2-079	4,4'-メチレンビス(2-メチルシクロヘキサミン)																2	新たな有害性データが確認されたことによる	環境省生態影響試験、2000		
2-080	りん酸(Z)-2-クロロ-1-(2,4,5-トリクロロフェニル)ビニル=ジメチル							3											前回の慢性経口クラス3は、農薬ADI(0.004mg/kg/day)による。現在は、農薬ADI確定値としては未公表。	国衛研農薬ADI情報	
2-080	りん酸(Z)-2-クロロ-1-(2,4,5-トリクロロフェニル)ビニル=ジメチル																1	新たな有害性データが確認されたことによる	AQUIRE(2003)		

表2. 前回の物質選定時に用いた有害性情報の評価方法を精査した結果、有害性のクラスが変更されたもの

資料3 - 2

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性クラ ス(前 回答申)	感作 性クラ ス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	有害性クラス が全て該当 しない[毒性 からの除外 候補]
1-001	亜鉛の水溶性化合物											3						ACGIHのTWAで1mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「下部気道および上部気道刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	
1-003	アクリル酸											3						ACGIHのTWAで5.9mg/m3許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	
1-008	アクロレイン					1												前回の物質選定では、in vitro染色体異常試験、復帰突然変異試験が陽性(EHC(1991))からクラス1としていたが、in vivo試験で陰性(CERI有害性評価書(2007))が確認できたため、クラス外とした	
1-010	アジポニトリル											3						ACGIHのTWAで8.8mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道および下部気道刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	1
1-017	N-(2-アミノエチル)- 1,2-エタンジアミン											3						ACGIHのTWAで4.2mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道および眼刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	1
1-022	アリルアルコール											3						ACGIHのTWAで1.2mg/m3、日産衛で2.4mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「眼および上部気道刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	
1-023	1-アリルオキシ-2,3- エポキシプロパン											3						ACGIHのTWAで4.7mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道刺激;皮膚炎;眼および皮膚刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	
1-041	エチレンジイミン											2						ACGIHのTWAで0.88mg/m3、日産衛で0.88mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「気管支炎;眼、上部気道、および皮膚刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス2は除外される	
1-043	エチレングリコール					1												前回の物質選定では、優性致死試験、in vivo染色体異常試験が陽性からクラス1としていたが、これらの陽性データは、用量依存性がない、再現性がない、試験物質の純度が不明、一時データが不明等の理由から、信頼性がないと考えられる。また、優性致死試験、in vivo小核および染色体異常試験、in vitroのAmes試験、染色体異常試験、SCE試験、DNA損傷性試験で陰性(CERI-NITE有害性評価書(2005))が確認できたため、クラス外とした	1

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回答申)	作業 環境 クラス	感作 性クラス (前回答申)	感作 性クラス	生態 毒性 クラス (前回答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	有害性クラス が全て該当 しない[毒性 からの除外 候補]
1-047	エチレンジアミン四酢酸					1												前回の物質選定では、in vivo試験で陽性(CERI-NITE 有害性評価書(2006))からクラス1としていたが、これらの陽性データは、用量が不明と信頼性に疑問があるので、クラス外とした	
1-055	2,3-エポキシ-1-プロパノール											3						ACGIHのTWAで6.1mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道、眼および皮膚刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	
1-067	クレゾール															1	2	前回の物質選定では、p-体について、ミジンコの21日間EC50が0.94mg/L(環境省生態影響試験)からクラス1としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しない。オオミジンコの21日間NOECが0.52mg/L(CERI・NITE有害性評価書、2007)からクラス2とした。なお、o、m-体については、魚類の96時間LC50が8.4-8.9mg/L(ECETOC)からクラス2。	
1-068	クロム及び3価クロム化合物											3						ACGIHのTWA、日産衛で0.5mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道、および眼」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	
1-070	クロロアセチル=クロリド											2						ACGIHのTWAで0.23mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス2は除外される	1
1-073	m-クロロアニリン					1												前回の物質選定では、in vitro DNA障害試験、遺伝子突然変異試験、染色体異常試験が陽性(BUA(1991))からクラス1としていたが、in vivo試験で陰性(NTP DB(1998))が確認できたため、クラス外とした	
1-074	クロロエタン					1												前回の物質選定では、比活性値が0.9%、D20が0.44%(出典：労働省)からクラス1としていたが、in vivo試験で陰性(CERI有害性評価書(2006))が確認できたため、クラス外とした	1
1-114	シクロヘキシルアミン															2		前回の物質選定では、ミジンコの21日間EC50が3.9mg/L(環境省生態影響試験報告)からクラス2としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しない。ミジンコの48時間EC50が36.3mg/Lやメダカの96時間LC50が33mg/L(環境省生態影響試験)からクラス外とした	
1-116	1,2-ジクロロエタン															2		前回の物質選定では、ミジンコの21日間EC50が3.59mg/L(環境省生態影響試験報告)からクラス2としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しない。ミジンコの48時間EC50が99mg/L(環境省生態影響試験)からクラス外とした	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性クラス (前回 答申)	感作 性クラス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	有害性クラス が全て該当 しない[毒性 からの除外 候補]
1-127	1,2-ジクロロ-3-ニトロベンゼン					1												前回の物質選定では、in vitro染色体異常試験、復帰突然変異試験が陽性(BUA(1993))からクラス1としていたが、in vivo試験結果やDNA損傷性が確認できなかったため、クラス外とした	1
1-134	1,3-ジクロロ-2-プロパノール					1												前回の物質選定では、in vitro姉妹染色体交換試験、突然変異試験、復帰突然変異試験が陽性(CERI/ハザードデータシート(1997))からクラス1としていたが、in vivo小核試験で陰性(環境省リスク評価(2005))が確認できたため、クラス外とした	
1-145	ジクロロメタン											3						日産衛の許容濃度が170mg/m3であるため、クラス外とした	
1-160	2-(ジ-n-ブチルアミノ)エタノール											3						ACGIHのTWAで3.5mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「眼および上部気道刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	1
1-198	1,3,5,7-テトラアザトリシクロ[3.3.1.1.3.7]デカン					1												前回の物質選定では、in vitroレックアッセイ試験、物質転換試験、復帰突然変異試験で陽性(CERI/ハザードデータシート(1997))からクラス1としていたが、in vivo試験で陰性(PATTY(1999))が確認できたため、クラス外とした	
1-204	テトラメチルチウラムジスルフィド											3						ACGIHのTWAで1mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「頭痛;上部気道、眼、および皮膚刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	
1-234	p-ニトロアニリン					1												前回の物質選定では、in vitro DNA修復試験、染色体異常試験、復帰突然変異試験で陽性(BUA(1987))からクラス1としていたが、in vivo試験で陰性(IUCLID(2000))が確認できたため、クラス外とした	1
1-235	ニトログリコール											2						ACGIHのTWA、日産衛で0.31mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「血管拡張、頭痛」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス2は除外される	1
1-236	ニトログリセリン											2						ACGIHのTWA、日産衛で0.46mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「血管拡張」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス2は除外される	
1-243	バリウム及びその水溶性化合物											3						ACGIHのTWAで0.5mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「眼、皮膚および胃腸刺激;筋肉刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	1
1-288	プロモメタン											3						ACGIHのTWA、日産衛で3.9mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道および皮膚刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性クラ ス(前 回答 申)	感作 性クラ ス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	有害性クラス が全て該当 しない[毒性 からの除外 候補]
1-292	ヘキサメチレンジアミン											3						ACGIHのTWAで2.4mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道および皮膚刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラスは除外される	
1-292	ヘキサメチレンジアミン									2***	3***							ラット/マウスの13週間のNOAEL=3.1mg/m3(呼吸器上皮変性)(CERI有害性評価書(2007))からクラス3***とした	
1-297	ベンジル=クロリド											3						ACGIHのTWAで5.2mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「眼、皮膚、および上部気道刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラスは除外される	
1-298	ベンズアルデヒド					1												前回の物質選定では、in vitro マウスリンフォーマ試験、姉妹染色分体交換試験、染色体異常試験で陽性(SIDS(1991))からクラス1としていたが、D20値が0.18mg/ml(安衛法変異原性試験結果(2005))が確認できたため、クラス外とした	
1-305	ホスゲン											2						ACGIHの症状「上部気道刺激、肺水腫、肺気腫」は5日間の動物実験のデータによるものであり、急性の症状である。また、低濃度暴露が続くと耐性ができる	1
1-308	ポリ(オキシエチレン)= オクチルフェニルエーテル															1	2	前回の物質選定では、藻類の96時間EC50が0.21mg/L(ECETOC)からクラス1としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しない。魚類の96時間LC50が2.8-3.2mg/L(CERI・NITE有害性評価書、2005)からクラス2とした	
1-310	ホルムアルデヒド											2						日産衛で0.12mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道および眼刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス2は除外される	
1-312	無水フタル酸											3						ACGIHのTWA、日産衛で2～6.1mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道、眼、および皮膚刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	
1-313	無水マレイン酸											2						ACGIHのTWA、日産衛で0.4mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「眼、上部気道、および皮膚刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス2は除外される	
1-315	メタクリル酸2-エチル ヘキシル															1	2	前回の物質選定では、ミジンコの21日間EC50が0.60mg/L(環境省生態影響試験報告)からクラス1としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しない。ヒメダカの96時間LC50が2700μg/l(環境省リスク評価第3巻、2004)からクラス2とした	

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回 答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回 答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回 答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回 答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回 答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回 答申)	作業 環境 クラス	感作 性クラ ス(前 回答 申)	感作 性クラ ス	生態 毒性 クラス (前回 答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	有害性クラス が全て該当 しない[毒性 からの除外 候補]
1-323	N-メチルアニリン															1	2	前回の物質選定では、ミジンコの21日間EC50が0.59mg/L(環境省生態影響試験報告)からクラス1としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しない。オオミジンコの48時間EC50が5.5mg/l(CERI/ハザードデータ集、2002)からクラス2とした	
1-329	N-メチルカルバミン酸 1-ナフチル					1												前回の物質選定では、in vitro復帰突然変異試験及びin vivo試験 染色体異常試験で陽性(EHC(1986))からクラス1としていたが、in vivo試験結果やDNA損傷性が確認できなかったため、クラス外とした	
1-345	メルカプト酢酸											3						ACGIHのTWAで3.8mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「眼刺激;皮膚刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外され	1
1-353	りん酸トリス(ジメチル フェニル)															1	2	前回の物質選定では、ミジンコの21日間EC50が0.42mg/L(環境省生態影響試験報告)からクラス1としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しない。ミジンコの48時間EC50が5.9mg/l(環境省生態影響試験報告)からクラス2とした	
1-354	りん酸トリ-n-ブチル											3						ACGIHのTWAで2.2mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「吐き気、悪心;頭痛;眼および上部気道刺激」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	
2-004	2-アミノピリジン											3						ACGIHの症状「頭痛、吐き気、悪心、中枢神経障害、めまい」はヒトに対する暴露2時間後の症状であり、急性の症状である。また、central nervous system effects というのも眠気、頭痛といった急性影響である。	1
2-016	オルトケイ酸テトラメチ ル											3						ACGIHのTWA、日産衛で6～6.2mg/m3で許容濃度が規定されているが、その症状は「上部気道刺激;眼損傷」であり、急性の症状と考えられるため、作業環境クラス3は除外される	1
2-035	m-ジニトロベンゼン											2	3					日本産業衛生学会の試験結果(1mg/m3)について、前回答申では気体と判断したが、蒸気圧(0.0009)から粒子であると見直した結果、クラス3に相当。	
2-037	ジピニルベンゼン															1	2	前回の物質選定では、ミジンコの21日間EC50が0.718mg/L(環境省生態影響試験報告)からクラス1としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しない。藻類の72時間ErC50が1.8mg/l(環境省生態影響試験報告)からクラス2とした	
2-046	鉄カルボニル											2						ACGIHの症状「肺水腫、中枢神経障害」は急性暴露(12～36時間)の症状であり、急性の症状である。	1

種-政 令番 号	物質名	発がん性 クラス (前回答申)	発がん性 クラス	生殖 毒性 クラス (前回答申)	生殖 毒性 クラス	変異 原性 クラス (前回答申)	変異 原性 クラス	経口 慢性 クラス (前回答申)	経口 慢性 クラス	吸入 慢性 クラス (前回答申)	吸入 慢性 クラス	作業 環境 クラス (前回答申)	作業 環境 クラス	感作 性クラス (前回答申)	感作 性クラス	生態 毒性 クラス (前回答申)	生態 毒性 クラス	前回答申からの変更理由	有害性クラス が全て該当 しない[毒性 からの除外 候補]
2-050	テルル及びその化合物(水素化テルルを除く)											2	2					ACGIHにおいて、鋳物産業で22ヶ月間暴露した際の症状として、ガーリック臭、口の渇き、眠気が規定されているが、97%の従業員において悪影響はみられなかったとされている	
2-054	二硝酸プロピレン											2						ACGIHの症状「頭痛、中枢神経障害」は急性暴露(6～8時間)の症状であり、急性の症状である。	1
2-069	ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=プロミド															1		前回の物質選定では、藻類の96時間EC50が0.03mg/L(ECETOC)からクラス1としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しないため、クラス2とした	
2-071	ベンゾチアゾール															2		前回の物質選定では、ミジンコの21日間EC50が2.3mg/L(環境省生態影響試験報告)からクラス2としたが、当該データはOECDテストガイドラインに合致しない。オオミジンコの48時間EC50が19mg/l(環境省生態影響試験報告)からクラス外とした	1
2-079	4,4'-メチレンビス(2-メチルシクロヘキサミン)									2***	3***							ラットの90日間のNOEL = 2mg/m3(肝臓、腎臓、心筋、鼻粘膜上皮への影響)(BUA(1994))からクラス3***とした	